

## デンドロビウムノビル系の栽培管理方法



Den.SnowFlake

### [ 植替え ]

一般的に1年半～2年に1度冬季最低温度 13 以上保てる場合は、花後新芽が5mm～10mm位伸長した時に3～5バルブを1鉢として新しい素焼き鉢に水苔で植えます。又冬季最低温度が5～10位しか保てない場合は13以上になる春を待って植替えします。

その他、培養土(コンポスト)が痛んでいる時または根が痛んでいる時も植替えをすると好結果が得られます。

### [ 置き場所 ]

冬.....最低 5～10 が保てる明るい室内。

(1 以上あれば冬は越します。)

春～秋(4月下旬～10月下旬)

室外の風通しのよい直射日光下。春室外に出す場合は曇天の日にだして慣らすと葉焼けしない。

秋の雨に当てると黒斑病などに罹りやすいので秋は雨除けをする。ダコニール 1000 などで消毒すると効果的。

### 作り易い品種

スノーフレイク‘レッドスター’

スノーフレイク‘オトメ’

ユキダルマ‘キング’

チンサイ(セキコク系)

スノー シャワー(セキコク系)

カルメン

ヒノデ

オベロン

サチ‘メルヘン’(セキコク系)

セカンドラブ‘トキメキ’

その他、次々と新しい品種が発表されています。

### [ 性質 ]

デンドロビウムノビル系の原種はインド、ミャンマー、中国南部の海拔1000m以上の高冷地で樹木の幹や枝に着生しています。日本のセキコクも同じ仲間です。そのため比較的寒さや乾燥に強く、丈夫で栽培の容易な洋らんです。

近年改良が進み、セキコクの血の入ったミニタイプから大輪まで、色彩、サイズが豊富に出回っています。

秋に14以下の低温に2週間以上当てると花芽ができます。但し、冬期低温の所で管理する場合はその必要はありません。

### [ 肥料 ]

4月から6月に毎月1回置肥を与えます。液肥は4月から7月の間に毎週1度与えます。7月以降は窒素肥料は控えます。

また面倒な場合は5月に1度だけの置肥で良くできます。

温度があれば(15以上)蕾の膨らむ時に液肥を与えると花が大きく咲きます。

### [ 水 ]

冬.....最低温度が5～10の場合は、コンポストがよく乾いてから暖かい日の午前中にぬるま湯を。

最低温度が13以上保てる場合は乾いたら灌水。又、室内が乾燥しやすい場合は1日2～3回の葉水が効果的です。

春～秋.....4月下旬～10月上旬は乾いたら充分に灌水。盛夏は1～2日に1回と夕方の葉水が効果的です。秋の彼岸以降は水を控えて行きます。

### [ お問い合わせは ]

〒 441 - 3613

愛知県渥美郡渥美町大字古田  
字原 66

#### スズキラン園

TEL 0531 32 - 0879

FAX 0531 - 32 - 1110

E-mail info@orchid.ne.jp

ホームページ

<http://orchid.ne.jp>